

## 意見書

石黒不二代

今回、提出される女性版の骨太方針については、細部に渡った配慮が感じられるものであると思います。特に、17の戦略分野における女性活躍の点において、以下の改善を望みます。

AIの進展は予想以上にスピードが速く、また、現状の認識を根本から覆すレベルのものであることを鑑み、組織の作り方、教育機関の在り方、制度等、全てをアジャイルに設計、また、実施する必要があると考えています。

例えば、簡単な例としては、今まで、特に情報工学系の女子学生の割合が少ないことを議論してきましたが、簡単なプログラミングはすでにAIが行い、すでに、より高度なプログラミングもAIに任せることが現在進行形で進んでいます。リスクリングの内容を、常に変更していくことを前提に設計していくことは簡単なことではありませんが、アジャイルな設計、アジャイルな実施方法が求められると考えます。

リスクリングに関しては、ハードスキル、つまり、法律とか会計とかプログラミングという個別に求められる知識の学習の価値は下がり、ソフトスキルであるリーダーシップやコミュニケーション能力というものを入れるべきであるし、また、AI時代に特に求められるメタスキル：スキルを使いこなす力、自己学習力、論理的思考、解のないものを自らが探す能力という、より根本的なスキルを学ぶ必要があります。これらは、リスクリングだけでなく、過去に記憶偏重の学習に重きが置かれていた日本の教育システムで根本的な見直しが求められるものであると考えます。

同様に、すでに記載されている事項で以下に代表されるようなアジャイルな考え方をさらに促進していただきたいと思います：

- ・柔軟な進路選択を可能とする教育の必要性
- ・戦略分野への学部等の新設・転換の推進や理工系への進路選択のための取組
- ・将来の社会・産業構造の変化等を踏まえ、大学における理工・デジタル系人材育成の強化や文理分断からの脱却を図るための成長分野への学部転換等の促進
- ・実践的技術者教育を担う高等専門学校の新設の促進
- ・数理・デジタル系分野を中心に、入学後も学生が希望するコース等を選択できる学びの実現
- ・高校教育において、理数系素養を身に付け、自ら問いを立て、解決する研究を行う高等教育